

長松小学校学校だより

R6年12月10日発行

えがおいっぱい 88号

なわとびあたって子どもは平気？

この時期、子どもたちは「なわとび」に取り組んでいます。なわとびあたって、子どもたちは痛くないのでしょうか。

以前、子どもは精神的にも肉体的にも未分化なため、痛みに鈍感であると思われていました。ところが現在の研究で、大人よりも痛みを感じることがわかってきました。

つまり、痛みを感じつつ、繰り返し目的達成のために練習をしているのです。

なわとびに話を戻すと、獲得しなければならない技術があります。それは「手首を回す」です。「手首」を回すことができないと、連続して跳ぶことはできません。最初子どもたちは、なわ回しを肩回転で行います。肩回転では、なわのスピードがあがらず、何より連続跳びができません。何度も練習し、手首で回すことを獲得します。何度もひっかかり、縄の重さや回転のリズム、自分自身の力の入れ具合を調整して、「跳べる」ようになっていきます。

身体の調整機能を目的達成のために、何度も繰り返し行うのが子どもたちです。そうして、なわの跳び方や技を獲得していきます。

運動は獲得しなければならない「技術」が必ずあります。それを「コツ」といったり「運動のポイント」といったりします。

運動をしてたくさんの技術と達成感を味わってほしいと思います。



干支を知っていますか？

星座占いは知っているても、干支を知らない子がいるようです。確かに普段は気にしないですね。

昔話「干支の由来」などで物語にはなっています。動物が競争し、牛に乗っていたねずみが1位となったとか、ねこは競争すら知らされなかったとか・・・。(ねことねずみ)

R7年は「へび」年です。

R8年は「うま」年です。

子どもたちに干支は何か、たずねてみたいです。

